

概括

富士宮は立ち上げから議決まで本当に一生懸命心を一つにして頑張ったと思います。浜岡原発の事を富士宮市民が真剣に考えていくきっかけになりました。反対アクションにもつながり、この運動を通してたくさんの方とのつながりもできました。行政ともいい関係が築けたと思います。県民投票の事も話題になりました。一石を投じたと確信しています。

組織づくり

フェイスブックで集まり、その人たちが中心となり説明会を開いた。そこで有志が集まり組織を立ち上げた。フジヴィジョンの経営者もメンバーになり、場所を提供してくれる。近藤千鶴が事務局となりスタートする。

本部のメーリングリストに応えるのはわずか2人。富士宮のメーリングリストは作成しなかったが、連絡はメールを使った。FBもわずか5人ぐらいしか参加できなかった。デジタルを自由に使いこなせるのは一握り。

メンバー紹介

反原発の会社をリタイヤした夫婦はじめ主婦・防災関係・農業・建築関係者・などのメンバー。ネットワークはメールと電話。会議の内容は署名集めの方法。署名の仕方や問題点・対話集会についてなど。ボランティアスタッフは署名活動を手伝ってくれた。対話集会では会場整備・駐車場係・ドアマン・フリーマーケット売り子・受付。

署名集め

富士宮市の受任者は209人・ほとんどメンバーの知り合い。中盤ぐらいから受任者が増えてきた。署名簿はメンバーが責任を持って回収。手分けをして電話で何度も請求した。

個別訪問では原発反対という反応が良かった。あくまでも中立を主張していくことを忘れなかった。街頭では明るく爽やかに声掛けを心掛けた。押し売りはしなかった。同じTシャツで統一し安心感を持たせ、男女で組んで安心感を誘うようにした。スーパー店頭ではお時間を取らないように手短に、しつこくならないようにした。すぐ署名できるように画板のようなものを用意した。

本人自筆の確認・日付の書き忘れ・他地域の署名簿の作成、などに間違いがあった。署名簿の独り歩きの問題も。

経費

かかった費用は、会議場所代・Tシャツ・御茶代・イベントの会場費や機材費など。弁当は持参か個人持ち。会議や講演会・イベントの時にカンパ箱を設置、また会の終わりに呼びかけた。フリーマーケットで資金稼ぎもした。朱肉・画板・マジック・段ボール・濡れティッシュ・ラミネートフィルムなどは寄付してもらった。

PR

チラシのデザインはメンバーで考えた。街角ステーション・署名会場・店舗に配布。効果は少しはあったと思うけど広い周知は無理でした。ローカルの新聞は顔パスでしたのでよく来てくれました。原発という言葉を出すだけ引かれてしまうことが多いので署名会場や街頭などで訴えていくしかなかった。

災害ボランティアのメンバーがいたのでその車を借りて宣伝もした。経費はガソリン代のみ。富士宮は広いので回りきれなかった。

議会・知事への働きかけ

議員と語る会を実施。何度も会合を持ち、また議員との打ち合わせを大事にした。経費は20000円ぐらい。メンバー15人・ボランティア5人 参加者150人ぐらい。

党議拘束がかかり自民党の議員は一度も顔を見せなかった。民主の議員のみが応えてくれた。県知事にメールをしたし、議員にもお手紙やらメールをするが、特定の人ばかりのロビー活動でした。

県民投票、地方自治の勉強になった。富士宮市の行政との話し合いもできた。今後は環境やエネルギーの勉強会をしていきたい。